

2021年
4月号
vol.4

圧入 ジャーナル

Lineup

▶活動報告

—「ジャイロプレス工法®」による杭の支持性能
について英語版の技術評価証・報告書

▶連載 栄えある第5回表彰

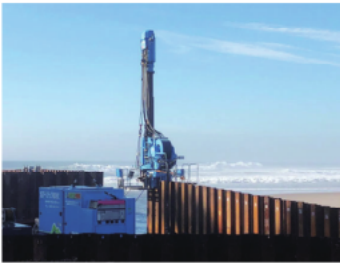
—メンテナンス部門賞、現場部門賞

▶会員企業様紹介

—ジオテック株式会社
—株式会社技研施工
—エムシー中国建機株式会社

▶業界ニュース

▶Information



写真は第5回 JPA 表彰受賞作品

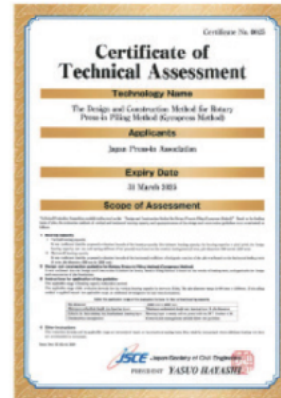
- 1 段目 (株) SR 基工
- 2 段目 (左から) 渡辺アーステック(株)・杉崎基礎(株)・土保産業(株)・北城重機興業(有)
- 3 段目 (左から) (株)藤井組・(株)藤井組・吉田重機建設(株)・(株)小澤土木
- 4 段目 (左から) (株)藤本重機・(株)梶川建設(株)角藤・(株)角藤
- 5 段目 (左から) (株)佐藤重機建設・磐城商事(株)

「ジャイロプレス工法®」による杭の支持性能について、土木学会より英語版の技術評価証・報告書が授与されました

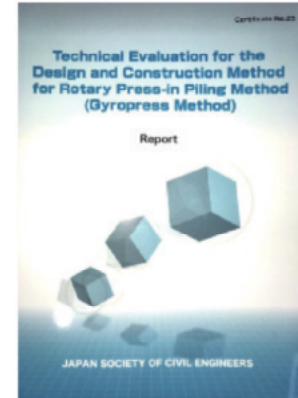
2020年6月、「ジャイロプレス工法®」が公益社団法人土木学会の技術評価を受け、同工法で圧入した鋼管杭の支持杭としての性能が認められました。本技術評価について、当協会は2021年2月に同学会より、技術評価証、報告書の英語版「Technical Evaluation for the Design and Construction Method for Rotary Press-in Piling Method (Gyropress Method)※」が授与されました。技術評価制度を運用する同学会が技術評価証の英語版を作るのは2例目、評価内容などをまとめた報告書とセットで英語化するの初めてです。

土木学会による評価を技術的裏付けとして英

語で示すことで海外における工法普及の後押しが期待できます。



技術評価証（英語版）



技術報告書（英語版）

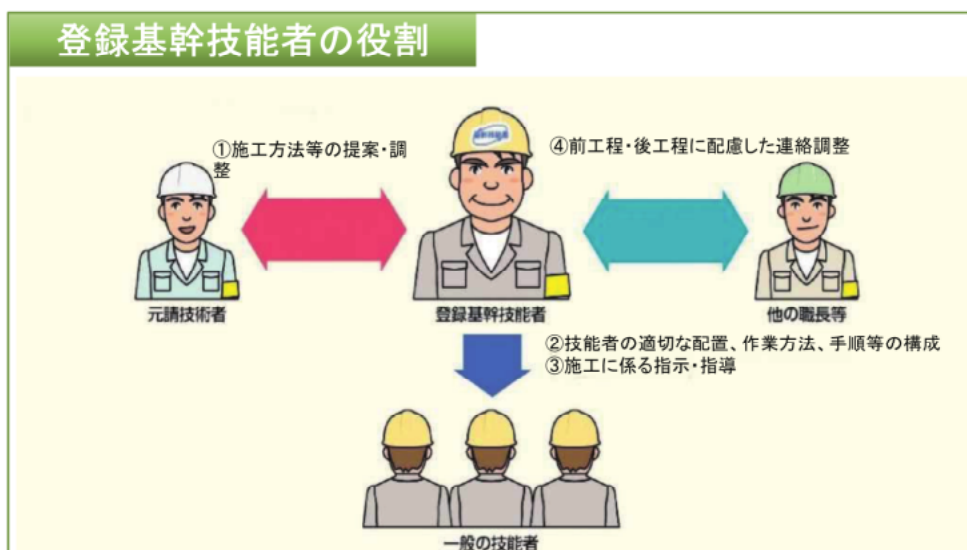
圧入技能者による社会貢献の見える化をめざして ～登録基幹技能者の認定団体に向けた活動～

建設業における就業者は年々高齢化が進んでおり、次の世代への技能の継承が重要となっています。一方、若い世代に対する魅力ある職場環境を作ることは業界の大きな課題です。そこで、協会は企画委員会（委員長：㈱藤井組・代表取締役 森致光様）を中心に「人材」にスポットを当て、「登録基幹技能者」の実施認定団体になるべく活動しています。

登録基幹技能者は、実務経験など一定の要件を満たし、国土交通大臣の登録を受けた講習を修了した技能者です。国では、技能者が能力や

経験に応じた処遇を受けられる環境整備等を図るため、「建設キャリアアップシステム」の構築・運用に取り組んでいます。登録基幹技能者に認定された方は、熟達した作業能力、現場を効率的にまとめるマネジメント力と豊富な知識を有すると認められ、同システムにおいて最高レベルの条件を得ることができます。

現在、国土交通省と協議を進めながら、圧入技能者の登録基幹技能者の実現に取り組んでいます。会員各位のご支援をよろしくお願いいたします。



国土交通省の資料より抜粋

Member introduction

会員紹介

GEOTECH ジオテック株式会社

ジオテック株式会社

(三重県松阪市)

■キャッチフレーズ

人と自然の共生を考え、豊かで、親愛の情に溢れる、安定した、快適な社会づくりを目指しています。

■創業または設立年月日

昭和 57 年 9 月

■最近のトピック

過去 30 年間、ほぼ毎年欠かさずに続けてきた社員研修旅行が、昨年はコロナの影響で中止を余儀なくされました。毎年の旅行を楽しみに日々頑張っていた皆も寂しい思いをしました。今年も行けるかどうか分かりませんが希望を胸に仕事に励みたいと思います。

■自社の PR

我が社の強みは、第一に、現場で働く作業員の仲が良く、現場で起こる問題を全体で考え、研鑽することで、お客様の声にしっかりと対応していくことです。細かなコミュニケーションを取ることで、よりスピーディに問題を解決し、一人一人がどう動くかを考え、現場を進めています。今年も新卒生が入社しました。新社会人の素直さを受け、先輩社員も初心に戻って全体が成長できたらと考えております。

(執筆者：桃野 耕一)



藤田 学社長



2019 年イタリア研修旅行にて

SEKO 株式会社技研施工

(高知県高知市)

■キャッチフレーズ

人、システム、機能美際立つ。条件設定、無駄なく、賢く。決めた通りに、確かな技術。

■創業または設立年月日

昭和 42 年 1 月 1 日

■最近のトピック

2020 年 3 月、国土交通大臣表彰の「第 3 回 JAPAN コンストラクション国際賞」(中堅・中小建設企業部門)を受賞しました。同賞は海外での質の高いインフラ整備で先導的に活躍する企業を表彰するもので、当社の「パイオニア性」「受注実績」「リスク管理」の 3 点が高く評価されました。直近でも、バングラデシュ、エジプトと海外においても工事を成功させています。

■自社の PR

昭和 42 年に創業以来、グループ会社である技研製作所とともに、数多くの難工事を成功させてきました。今後も培ってきた技術力・開発力で圧入の未来を切り拓いていきます。圧入業界のリーディングカンパニーの 1 社として国内外での工法の普及に努め、業界の発展に尽力してまいります。

(執筆者：西川 昭寛)



西川 昭寛社長



第 3 回 JAPAN コンストラクション国際賞 (中堅・中小建設企業部門)



ダカール港第三埠頭

Member introduction

会員紹介



エムシー中国建機株式会社

エムシー中国建機株式会社

(広島県広島市)

■キャッチフレーズ

誠心誠意の理念の基、信用と信頼を大切にしています。

■創業または設立年月日

昭和62年5月

■社風や雰囲気について

建設機械総合商社として設立し33年が経ちました。中国地区でスタートした営業エリアは、現在九州、四国地区を加え西日本一円をエリアとしています。全社員がお客様及び製造業者様と共存共栄の想いを持ち、共に発展して行くことを目指しています。

■自社のPR

建設機械、港湾作業船、産廃・生コン・アスファルト・砕石プラント等幅広い販売と、基礎機械を主としたレンタルの事業を中四国、九州にヤードを持ち展開しています。最新機種を揃え、お客様のお役に立ち、業界と社会への貢献できるよう精進してまいります。

(執筆者:赤名 知利)



営業部にて



本社の入る広島インテスビル
オフィスは8階になります

Information

労働災害防止に関するお願い

当協会では技術委員会が中心となって「労働災害防止活動」を方針の一つに掲げて活動しており、会員サイトを通じて災害・ヒヤリハット事例集の共有やブロック会議で啓発活動を行っ

ています。会員サイトの募集コーナーに災害事例・ヒヤリハット事例の募集についての入力フォームと記入例を掲載していますのでご協力をお願いします。皆様どうぞご安全に。

「2021年度会員総会(定時社員総会)」について

「2021年度の会員総会(定時社員総会)」を、来る6月10日(木)に開催する予定です。会員総会では、前年度の事業報告・今年度の事業計画等の議案審議を行うほか、北村精男名誉会長による講演も予定しています。

本年度は新型コロナウイルス感染症が未だ終息

しない中、会員の皆様が無理なくご参加いただけるよう、オンラインによるライブ配信を企画しました。ご案内状を郵送いたしますので、無理のない範囲で大勢の皆さまのご参加をお願いします。

栄えある第5回表彰をご紹介します

メンテナンス
部門賞

ジオテック株式会社



20 t吊の橋形クレーン整備工場と屋根のある機械置き場が完成したことで圧入機の入出庫が安全かつスピーディーになり、これまで出来なかった簡単な整備も自社で行えるようになりました。工場内にホイストクレーンを設置し、作業効率を向上させました。

当社は「人も機械も一緒に働くチームの一員」として、オペレーターや手元作業員が圧入機に愛情を持ち機械と対話しながら施工を行っています。経験を積んだオペレーターが少しの異音や臭い、微細な異常動作等も見逃さず、少しでも変だなと思った際はすぐに原因を究明するよう常に機械を良い状態に保っています。また施工中の本体が作動していない時間に作業員が圧入機を磨く事は恒常化しています。

グリスを差し終わった後にニップル周辺を棒とウエスではみ出たグリスを綺麗に拭き取ります。

☆当社の工夫

油圧ホースの交換、アタッチメントの交換、サイレントパイラーのクランプの組替え、機械消耗品の交換等の整備を自社で行う為の手順ガイドブックを作成し活用しています。

整備士が整備を行っている動画を資料として作成し、メンテナンス教育資料とすることを計画しています。

栄えある第5回表彰をご紹介します



株式会社大崎産業



現場でトラブルを起こさないという経営方針に基づき、出庫時には圧入機が現場で100%の能力を出せるよう新車時の状態をモットーに、指定工場・社員一同で整備・点検・メンテナンスを行っています。

オーガースクリューのジョイント部分のカラーチェックを行っています。目視だけでは解らない亀裂も見え、スクリューの折れ事故がなくなることで安全確保につながっています。

入庫時チェックシート		最終確認者	入庫時確認者										
入庫日	令和 年 月 日	機名	OP										
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">確認データ</th> </tr> <tr> <td>年次点検日</td> <td>令和 年 月 日</td> </tr> <tr> <td>修理費</td> <td>令和 年 月 日</td> </tr> <tr> <td>オーバーホール実施日</td> <td>令和 年 月 日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和 年 月 日</td> </tr> </table>				確認データ		年次点検日	令和 年 月 日	修理費	令和 年 月 日	オーバーホール実施日	令和 年 月 日		令和 年 月 日
確認データ													
年次点検日	令和 年 月 日												
修理費	令和 年 月 日												
オーバーホール実施日	令和 年 月 日												
	令和 年 月 日												
本体チェックリスト													
メインシリンダーの油漏れ	無	自社修理	修理担当依頼	依頼日	完了確認日	最終確認							
	有	指定工場	指定工場依頼	令和 年 月 日	令和 年 月 日	修理費 / 確認者							
マスト内油漏れ	無	自社修理	修理担当依頼	依頼日	完了確認日	最終確認							
	有	指定工場	指定工場依頼	令和 年 月 日	令和 年 月 日	修理費 / 確認者							
チェックバルブ確認	無	自社修理	修理担当依頼	依頼日	完了確認日	最終確認							
	有	指定工場	指定工場依頼	令和 年 月 日	令和 年 月 日	修理費 / 確認者							
ステップ・チェックステージ整備	無	自社修理	修理担当依頼	依頼日	完了確認日	最終確認							
	有	指定工場	指定工場依頼	令和 年 月 日	令和 年 月 日	修理費 / 確認者							
外観・ボルト緩み確認	無	自社修理	修理担当依頼	依頼日	完了確認日	最終確認							
	有	指定工場	指定工場依頼	令和 年 月 日	令和 年 月 日	修理費 / 確認者							
引継ぎ事項確認		自社修理				最終確認							
		指定工場				修理費 / 確認者							

圧入機の入庫時にはチェックシートを用いて、くまなく点検し補修します。



機材置き場

☆当社の工夫

当社はN値750以上の現場を施工する際、1時間以上は先行削孔しないという社内ルールを設け、1時間経ったらヘッ드의摩耗の確認・ビットの摩耗状態（ビットの先端が丸くなったら交換）を行っています。そうすることにより、削孔が可能になり、能率向上につながっています。

栄えある第5回表彰をご紹介

メンテナンス
部門賞

株式会社 SR 基工

機名	型式	製造年	製造国	製造元	設置	備考
1	圧入機	2018	日本	SR	現場	
2	圧入機	2018	日本	SR	現場	
3	圧入機	2018	日本	SR	現場	
4	圧入機	2018	日本	SR	現場	
5	圧入機	2018	日本	SR	現場	
6	圧入機	2018	日本	SR	現場	
7	圧入機	2018	日本	SR	現場	
8	圧入機	2018	日本	SR	現場	
9	圧入機	2018	日本	SR	現場	
10	圧入機	2018	日本	SR	現場	
11	圧入機	2018	日本	SR	現場	
12	圧入機	2018	日本	SR	現場	
13	圧入機	2018	日本	SR	現場	
14	圧入機	2018	日本	SR	現場	
15	圧入機	2018	日本	SR	現場	
16	圧入機	2018	日本	SR	現場	
17	圧入機	2018	日本	SR	現場	
18	圧入機	2018	日本	SR	現場	
19	圧入機	2018	日本	SR	現場	
20	圧入機	2018	日本	SR	現場	
21	圧入機	2018	日本	SR	現場	
22	圧入機	2018	日本	SR	現場	
23	圧入機	2018	日本	SR	現場	
24	圧入機	2018	日本	SR	現場	
25	圧入機	2018	日本	SR	現場	
26	圧入機	2018	日本	SR	現場	
27	圧入機	2018	日本	SR	現場	
28	圧入機	2018	日本	SR	現場	
29	圧入機	2018	日本	SR	現場	
30	圧入機	2018	日本	SR	現場	
31	圧入機	2018	日本	SR	現場	
32	圧入機	2018	日本	SR	現場	
33	圧入機	2018	日本	SR	現場	
34	圧入機	2018	日本	SR	現場	
35	圧入機	2018	日本	SR	現場	
36	圧入機	2018	日本	SR	現場	
37	圧入機	2018	日本	SR	現場	
38	圧入機	2018	日本	SR	現場	
39	圧入機	2018	日本	SR	現場	
40	圧入機	2018	日本	SR	現場	
41	圧入機	2018	日本	SR	現場	
42	圧入機	2018	日本	SR	現場	
43	圧入機	2018	日本	SR	現場	
44	圧入機	2018	日本	SR	現場	
45	圧入機	2018	日本	SR	現場	
46	圧入機	2018	日本	SR	現場	
47	圧入機	2018	日本	SR	現場	
48	圧入機	2018	日本	SR	現場	
49	圧入機	2018	日本	SR	現場	
50	圧入機	2018	日本	SR	現場	
51	圧入機	2018	日本	SR	現場	
52	圧入機	2018	日本	SR	現場	
53	圧入機	2018	日本	SR	現場	
54	圧入機	2018	日本	SR	現場	
55	圧入機	2018	日本	SR	現場	
56	圧入機	2018	日本	SR	現場	
57	圧入機	2018	日本	SR	現場	
58	圧入機	2018	日本	SR	現場	
59	圧入機	2018	日本	SR	現場	
60	圧入機	2018	日本	SR	現場	
61	圧入機	2018	日本	SR	現場	
62	圧入機	2018	日本	SR	現場	
63	圧入機	2018	日本	SR	現場	
64	圧入機	2018	日本	SR	現場	
65	圧入機	2018	日本	SR	現場	
66	圧入機	2018	日本	SR	現場	
67	圧入機	2018	日本	SR	現場	
68	圧入機	2018	日本	SR	現場	
69	圧入機	2018	日本	SR	現場	
70	圧入機	2018	日本	SR	現場	
71	圧入機	2018	日本	SR	現場	
72	圧入機	2018	日本	SR	現場	
73	圧入機	2018	日本	SR	現場	
74	圧入機	2018	日本	SR	現場	
75	圧入機	2018	日本	SR	現場	
76	圧入機	2018	日本	SR	現場	
77	圧入機	2018	日本	SR	現場	
78	圧入機	2018	日本	SR	現場	
79	圧入機	2018	日本	SR	現場	
80	圧入機	2018	日本	SR	現場	
81	圧入機	2018	日本	SR	現場	
82	圧入機	2018	日本	SR	現場	
83	圧入機	2018	日本	SR	現場	
84	圧入機	2018	日本	SR	現場	
85	圧入機	2018	日本	SR	現場	
86	圧入機	2018	日本	SR	現場	
87	圧入機	2018	日本	SR	現場	
88	圧入機	2018	日本	SR	現場	
89	圧入機	2018	日本	SR	現場	
90	圧入機	2018	日本	SR	現場	
91	圧入機	2018	日本	SR	現場	
92	圧入機	2018	日本	SR	現場	
93	圧入機	2018	日本	SR	現場	
94	圧入機	2018	日本	SR	現場	
95	圧入機	2018	日本	SR	現場	
96	圧入機	2018	日本	SR	現場	
97	圧入機	2018	日本	SR	現場	
98	圧入機	2018	日本	SR	現場	
99	圧入機	2018	日本	SR	現場	
100	圧入機	2018	日本	SR	現場	

☆当社の姿勢

圧入施工は現場作業だけでなく、圧入機等の管理・整備も含むと考えています。機械の消耗を最小限度とし、圧入機等への負担を軽減するよう努めています。機械管理表を用いて入出庫時は機械の状態をチェックします。置き場に門型クレーンを設置し、できる範囲の整備・修理・保全作業を行います。施工中の機械故障をゼロにすることを目標に作業をしており、機械保全についての資格取得にも力を入れています。

栄えある第5回表彰をご紹介

メンテナンス
部門賞

株式会社梶川建設



屋根下収納（圧入機本体）



道具及び機材の棚を設置し、置き場ごとに棚表記を付け、物の場所が分かるよう表記してあります。

当社では、施工現場から戻ってきた機械は丁寧に高圧洗浄し、外観チェックで油漏れや破損がないかを確認し、屋根下で保存します。その際、施工完了時にオペレーターが作成する「機械調査票」を用い、機械使用時の不具合や破損の有無、修繕してほしいことなど、状態の情報共有を行います。圧入機等の「消耗品交換時期の見える化」と「年間メンテナンス計画書の作成」を実施し、圧入機等の予防保全に努めています。

機名	型式	製造年	稼働時間	点検日	点検者	異常有無	修理内容
圧入機	ゼロピ	2015	1000	2023.10.10	田中	異常あり	油圧油交換
圧入機	ゼロピ	2016	800	2023.10.10	田中	異常なし	
圧入機	ゼロピ	2017	600	2023.10.10	田中	異常あり	部品交換
圧入機	ゼロピ	2018	400	2023.10.10	田中	異常なし	
圧入機	ゼロピ	2019	200	2023.10.10	田中	異常あり	オーバーホール
圧入機	ゼロピ	2020	100	2023.10.10	田中	異常なし	
圧入機	ゼロピ	2021	50	2023.10.10	田中	異常あり	点検
圧入機	ゼロピ	2022	20	2023.10.10	田中	異常なし	
圧入機	ゼロピ	2023	10	2023.10.10	田中	異常あり	点検



消耗品の交換時期や部品品番を一覧にし、掲示して機材センター内で共有しています。

☆やりがいのある仕事

機材センターの役割としては、施工現場での作業はないのですが、施工が滞りなく行われること、施工作業者が次の現場までの準備や段取りがしやすい環境づくりを目指し、常に「カイゼン」を意識しています。機材トラブルなく現場が終了し「ありがとう」と言われることが最大のやりがいです。

栄えある第5回表彰をご紹介

現場部門賞

知恵と工夫で実現させた現場

吉田重機建設株式会社

北梅田新駅地下新設 路盤新設工事（仮称）

北梅田新駅（仮称）地下新設に伴う支線地下化を目的とする本工事は、線路と並行する高架下の狭小スペースでの施工でした。施工場所は圧入機・反力ウエイトを鋼矢板法線上に直接吊り込む事が不可能である線路下、施工時間は夜間の線路閉鎖時わずか3時間～4時間です。圧入機を直接吊り込む事が不可能なため、施工場所へ圧入機を自走させて搬入し施工しました。自走架台設置、圧入機の自走、自走架台撤去を可能な設計にしたことに加え、トラブルを想定して油圧ホース・油圧ユニットの予備を設置し、万全の体制で工事に臨み、限られた作業時間内での工事を実現しました。

業界ニュース

2021年2月～2021年4月

20年建設業倒産 過去最少

東京商工リサーチは2020年（1－12月）の建設業倒産件数（負債額1000万円以上）をまとめた。前年比13.6%減の1247件にとどまった。過去30年間で最少件数。負債総額と平均負債額も減少し、倒産の小口化がさらに進んだ格好だ。民間設備投資意欲減退の度合いが、コロナ禍の中で今後どれだけ広がるか不透明さが増している。

電子受発注 23年導入率 5割目標

政府は、中小企業・小規模事業者の活力向上に向け、取引適正化への支払条件改善とともに、受発注から決済までのデジタル化を通じた生産性向上、適正な知財取引と知財経営の推進などにも取り組む。電子受発注システムの普及促進では、各業種の課題を把握して、今夏をめどに各業種での普及促進ロードマップ（工程表）を策定する。2023年の電子受発注システムの中企業導入率約5割を目指す。

21年度地方財政計画の投資的経費は1割減

政府は、2021年度地方財政計画を閣議決定した。地方自治体の歳入・歳出見込額を示すもので、通常収支分と東日本大震災分を合わせた歳出額は前年度比1.6%減の90兆2478億円。このうち、投資的経費は10.3%減の12兆0770億円となる。内訳は、通常収支分が6.5%減の11兆9273億円、東日本大震災分が78.8%減の1497億円。通常収支分の投資的経費は、直轄・補助で14.1%減の5兆7135億円、単独で1.6%増の6兆2137億円を見込む。

デジタル改革関連法案を閣議決定

政府は、デジタル庁設置法案など6本で構成するデジタル改革関連法案を閣議決定した。デジタル改革の司令塔となるデジタル庁は、内閣総理大臣をトップとする内閣直属の組織で、デ

記事提供：日刊建設通信新聞社

ジタル大臣を置く。「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律案」は、国土交通省所管17本を含む48本の法律を対象に押印・書面手続きを見直す。一部を除き、施行日は9月1日。今国会での成立を目指す。

5年後に約束手形利用廃止

梶山弘志経済産業相は記者会見で、企業が取引の決済に使う証書の約束手形について「5年後（2026年）の利用廃止を目指す」と明言した。約束手形の利用廃止は、政府が1月に開いた中小企業関連の会合で正式に打ち出し、今夏をめどに産業界や金融業界による「約束手形の利用の廃止等に向けた自主行動計画」を策定する方針を示していた。建設産業界でも、中小企業などの取引適正化に向け、日本建設業連合会の自主行動計画の改定を始め、業界としての対応が求められることになる。

公契連最新モデル半数の市区町村で採用

市区町村レベルで、低入札価格調査の基準価格や最低制限価格の設定範囲の引き上げが進んでいる。国土交通省の調査によると、2020年10月1日時点で、全国の約半数の市区町村が最新の算定モデルに準拠していることが分かった。他方、一部の自治体では最新モデルを大きく下回る基準が設定されていることから、同省は今後、算定方式や設定範囲の公表を念頭に、自治体に自発的な改善を求めている。

手形サイト 60日以内を通知

公正取引委員会と経済産業省中小企業庁は、下請代金支払手段通知（手形通知）を改正し、中小企業の取引条件改善に向け、親事業者による下請代金の支払いではできる限り現金とし、建設業など最長120日としていた手形支払サイトを60日以内に短縮することなどを関係事業者団体に要請した。

新会員紹介

(2020年12月16日～2021年4月15日入会、入会順・会員別)

正会員

株式会社河里様

埼玉県さいたま市

【会員数の現況】(2021年4月15日現在)

正会員 210 社、協賛会員：50 社、賛助会員：4 社 5 団体、特別会員：8 名



編集・発行 / (一社) 全国圧入協会 事務局

TEL 03-5781-9155 E-mail jpa@atsunyu.gr.jp